



留萌市ゼロカーボンシティ宣言

近年、地球温暖化が原因とされる気候変動の影響により、世界各地で猛暑や台風、集中豪雨などの異常気象が多発し、我が国においても集中豪雨や台風等による自然災害が頻発するなど、自然環境や生態系への影響等が懸念されており、温暖化対策は喫緊の課題となっています。

2015年に採択されたパリ協定では、「世界の平均気温上昇を産業革命前に比べて2℃未満に抑えるとともに、1.5℃までに抑える努力が必要」との目標が国際的に広く共有され、2018年に公表された国連の気候変動に関する政府間パネル（IPCC）の特別報告書では、気温上昇を1.5℃に抑えるためには、2050年までに二酸化炭素の実質排出量をゼロにすることが必要とされています。

このことを受けて、我が国では2020年10月に内閣総理大臣所信表明において「2050年までにカーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」ことが宣言され、北海道においても、再生可能エネルギーや森林吸収源等の地域資源を最大限活用しながら、脱炭素化と経済の活性化や持続可能な地域づくりを同時に進める「ゼロカーボン北海道」の実現を目指すこととされました。

こうした国内外の動向を踏まえ、本市としては、洋上風力発電やブルーカーボンの調査研究を進め、この地域にあった再生可能エネルギーの活用や省エネルギー対策など環境に配慮した取り組みを推進し、豊かな地球環境を次世代の子どもたちに引き継いでいくため、市民や事業者の皆さまと一体となって、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」の実現を目指すことをここに宣言いたします。

令和5年8月29日

留萌市長 **中西俊司**